

滋賀県長浜市
生涯活躍のコミュニティづくり
実施計画（案）

令和4年3月

長浜市生涯活躍のコミュニティづくり実施計画

1. 本計画の趣旨

長浜市では、人口減少や急速な少子高齢化に伴い、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、横断的な施策を推進しているが、人口ビジョンの目標どおり人口構造の若返りが達成されたとしても、高齢者一人を現役世代が約1.68人で支えるという厳しい状況や、15～64歳の総人口に対する割合が減少し、労働力不足に陥るおそれがある。

そのため、人口減少対策のみではなく、女性やアクティブシニアが活躍できる全世代・全員活躍型の長浜市の実現に向けて、「交流・居場所」「活躍・しごと」といった機能を有したコミュニティづくりを推進するため、本計画を策定する。



2. 検討課題

現状

- 子育て支援等に取り組む団体（＝合同会社LOCO）が、多様な女性等の個別の状況に応じた就労の仕組みづくりの意向を持っている
- 同団体が入居しているスペース（＝えきまちテラス長浜）を、子どもや高齢者も含む、多くの人を訪れる交流・居場所とするよう取り組んでいる（LOCO、チャレンジスペース、クリエイションセンター等）
- 市内事業所の人手不足解消や事業開発等による活性化を促進する必要がある



検討課題

時間的な制約やスキル等が課題となって「働きたいのに働く場がない」女性等への仕事の提供を核として、事業所や市民の交流を生み出す仕組みを構築する。

しかし、特に時間的な制約やスキルが不足する女性には仕事が少なく、事業所や地域は人手が不足している現状・・・

3. 検討体制

・庁内体制については、政策デザイン課（市の企画調整担当）を中心に、「仕事・活躍」をテーマに業務を行う人権施策推進課（女性活躍）、商工振興課（働く女性応援）、市民活躍課（地域における活躍）が連携し施策の検討。

・ふるさと移住交流室（交流・関係・移住人口との連携、ふるさと寄附の活用）は、関係人口との連携やベースとなる仕事づくりにおいて、連携。

・合同会社LOCO（子育て・働く・暮らしの応援）を中心に、えきまち長浜株式会社（交流・居場所）、長浜デザイン戦略室（クリエーションセンターの運営、関係人口・移住者との連携）と市が一同に会して意見交換を実施。官民連携の推進基盤を構築する。

庁内をやる気にさせるのは難しい課題。LOCOさんにお世話になっている人に声をかけ、LOCOさんの悩みを一緒に考える会からSTART。

R3から組織化されたふるさと移住交流室は、移住者との地元企業の連携や、ふるさと寄附の返礼品充実を課題としており、一緒にできないか声かけ。うまくニーズが一致しました！

外部会議は、活躍する業界が異なるメンバーも多かったですが、意外と同じ方向性（市内事業所と誰かを仕事でマッチングすること、まちの好循環を目指していることetc）で活動していることが分かりました。

大きな化学反応は今はまだないですが、「とりあえず集まってみる」のは、小さくても新たな発見があるはずです。

4. 調査結果

- 庁内横断かつ民間参画により「生涯活躍のまち」を検討することで、施策のすき間や連携の可能性等に気づきがあった。
- 「仕事」をキーワードとして、女性（時間に制約ある方）や移住者等（サテライトオフィスの整備に伴い訪れる人、長浜に関わりたいと思ってくれるリモートワーカー等）の関係性を整理することで、労働力や専門的スキルが不足し困っている地域内事業者とのマッチングが可能となり、地域内での好循環を検討することができる。（5～12頁のとおり）
- ストーリー性がある商品開発が必要となる「ふるさと寄附」の運営を核に、地域の仕事・人の交流や循環を検討できる。（13頁のとおり）

・旧来の「政策」の枠組みを超えて、庁内外の課題（今回は仕事づくり）に目を向けると、今までとは違った人と人の交流が生まれ、新たな気づき（女性×移住者、仕事×ふるさと寄附 etc）が生まれるかもしれません。

・事業の構築は流されるまま。やる気がある人が、やりたいと思っていることを応援する気持ちで、それを実現するにはどうすればよいか、誰とつなげればよいかを手助けすることができれば、それだけで市の課題解決につながります。上手くつながれば、化学変化で市の大きな課題解決が進むかも、という気持ちで色々関わっています。

・誰かにやる気を出させるのも大事ですが、やる気がある人を応援する方が、気持ちよく仕事できるのではないのでしょうか。今回は、LOCOさんやふるさと交流室のメンバーの「やる気」で取組が進んでいます。

子育て応援カフェLOCOの取組

子育て応援カフェLOCO New concept!!

みんなの暮らし「あったらいいなあをカタチに・・・」

学生、子育て世代～高齢者まで
「子育て」「働く」「暮らし」を応援する場所として、
長浜の暮らしに なくてはならない存在を目指し
生活にPLUS+となるような各種事業を展開しています

子育てを応援



働くを応援



暮らしの応援



自分らしい暮らしができ、住み続けたいなる“まち”をめざして

LOCO Living

～LIFE PLUS+自分らしい暮らしを～

OPEN
【LOCO Living】
月曜～金曜（祝休）
9：30～17：30



- 再就職支援
- 起業支援+女性活躍啓発
- 育休支援
- ハローワーク+滋賀マザーズジョブステーション連携
- リモートワーク+短時間就労
- シェアスペース+まちBASE
- えきまちテラス総合窓口

短時間就労 * スキルを活かす

企業さんから外注のお仕事を受けLOCOの中で短時間勤務できる女性に就労してもらう仕組み。
働きたい女性の問題を地域で仕事をまわす解決する一歩になれば。

TEAM WORK

■ 専門的スキルを持った方がチームを組んで
企業、行政の仕事に関わる仕組み

- ・チラシ、冊子作成
- ・HP作成
- ・取材+記事作成
- ・動画編集
- ・SNS更新代行 など



短時間就労＊地域で仕事をまわす



簡単 スマホ LINE 教室

参加費 無料

地域で子育て中のお母さんスタッフがサポートします！

利用者8000万人突破のLINE！
LOCOのスタッフが寄り添って丁寧に説明します。
ご家族、趣味の仲間どうしてLINEでのトーク、写真の交換に挑戦しませんか？

日	第4回目	第5回目
時	12月13日(月) 10:00~11:30	12月22日(水) 13:00~14:30

定員：各6人まで

場所 まちづくりセンター1B会議室
滋賀県長浜市高田町12-34 さざなみタウン

内容 スマホの基本操作・LINEの始め方
友だちの追加方法・トークと無料通話
グループLINEの始め方・写真や資料の送り方

お申し込み TEL/FAX 64-2753
長浜地区地域づくり連合会まで

■ 地域のお母さんが地域のシニア世代にLINE講座



■ 幅広い種類の仕事を受注

地域の仕事を地域で短時間就労をしたい方が行おう。
人材不足×短時間しか就労できない方の課題が一度に解決できれば。

えきまちテラス長浜とパートナーとして*

■ シェアスペースinえきまちテラス長浜

- ・レンタルスペース+コワーキングスペース(仕事、商談、イベント、交流の場)
- ・まちBASE...市民団体やNPOなどの拠点としての利用
 インクルーム利用、住所利用、郵便・荷物管理、ロッカー



■ えきまちテラス長浜の総合窓口

- ・1階en>gawaスペース+2階イベント広場+アトリウム等の貸スペースの窓口
長浜に暮らす人がチャレンジできる場+多世代が集う居場所



えきまちテラス長浜に シェアオフィス誕生

市民団体、NPO、法人の活動の拠点に//

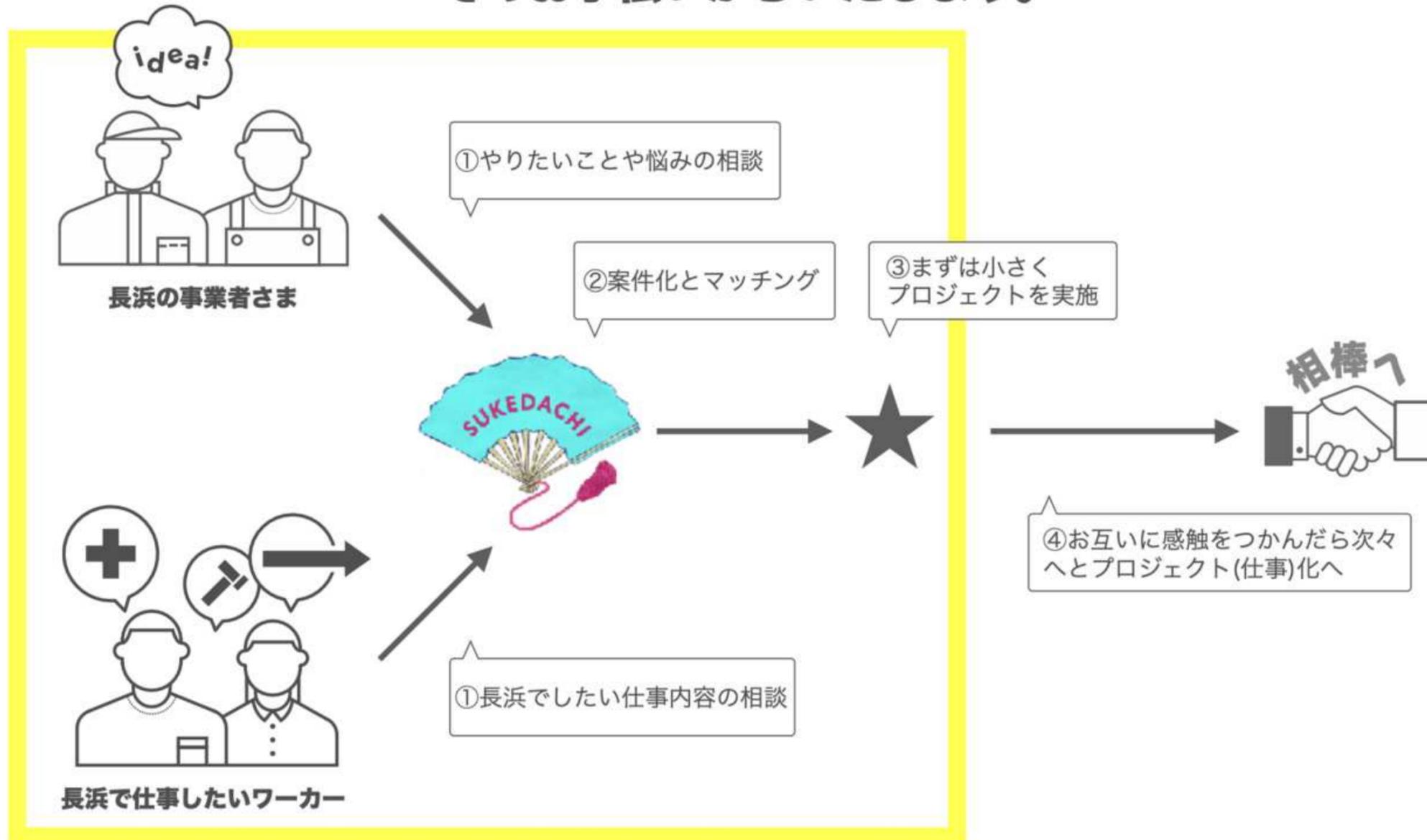
集まる場所がほしい
郵便、荷物の受け取りをしてほしい
そんなお悩みを解決します!!

長浜市の取組

直接寄与型の関係人口創出・拡大施策

長浜ワークロケーション事業

まずは小さくはじめてみる。
そのお手伝いからいたします。

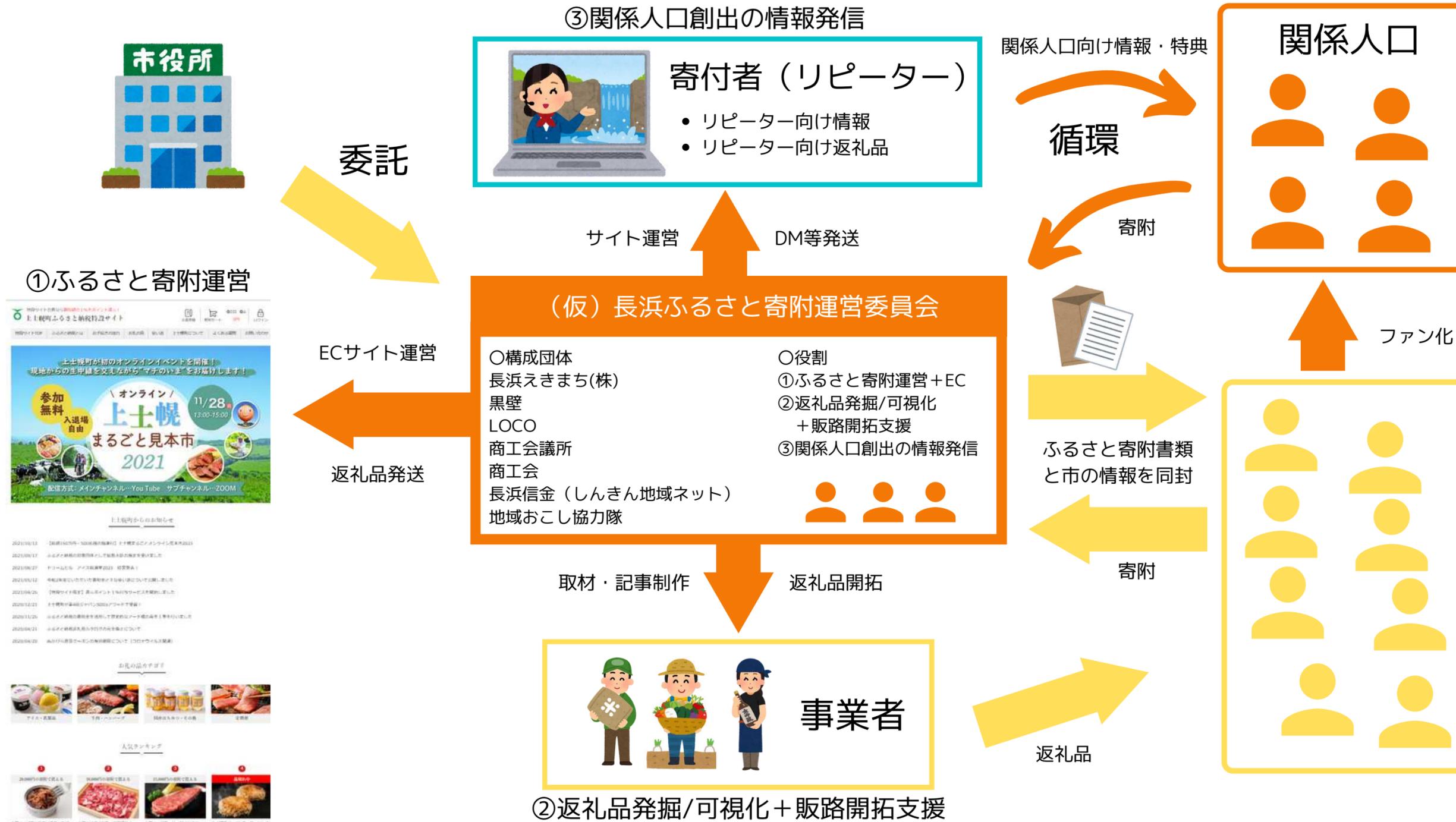


SUKEDACHIプロジェクト

地元企業のやりたいことや課題と、自身のスキルや経験を活かして、長浜に関わりたい都市部のワーカーをマッチングすることで、地域はイノベーションや人材への投資意識の変化を、ワーカーは地域の豊かな暮らしの体験やキャリアの可能性を広げることで、互いの足りない部分を補い合い、良い部分を高めます。単発のマッチングを目的とせず、人材や経験、スキルや価値観が循環し、ともに成長し合える関係を作り出します。

市場としての関係人口創出・拡大施策

ふるさと寄附



地域共創型 ふるさと寄附

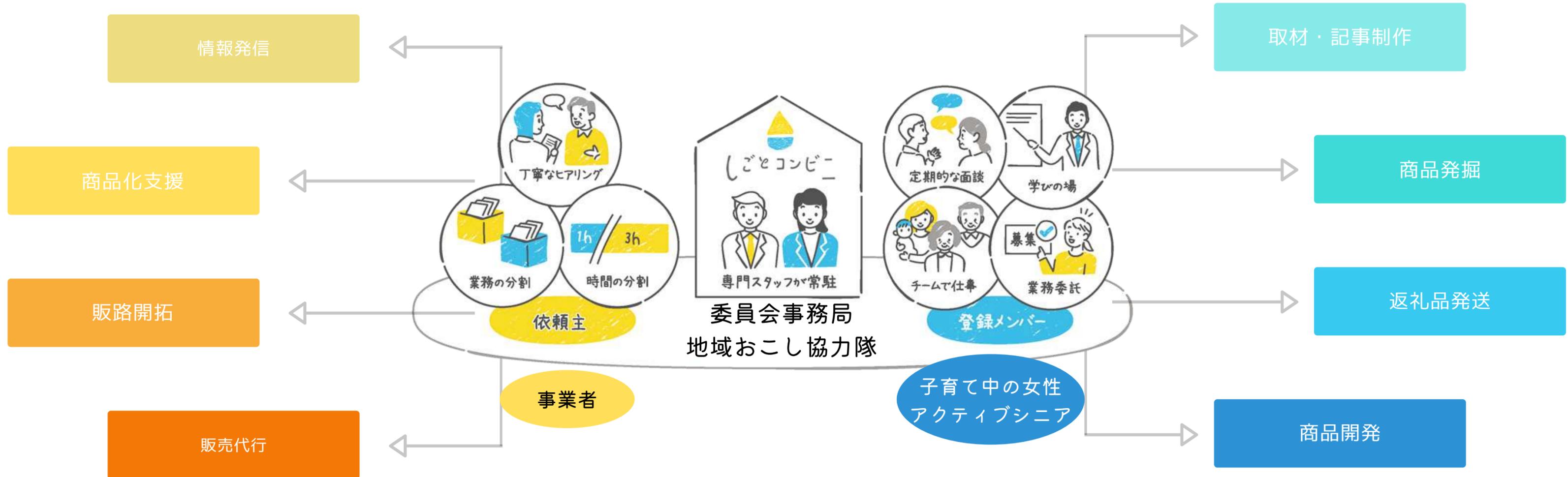
長浜ファンを増やすために、リピーターに訴求力のあるストーリー性を有する返礼品開発や情報発信を官民連携で行う仕組みをつくりたいです。
地域内での経済循環を促進するため、独自サイトの運用も検討します。

5. 取組の方向性

- 合同会社LOCOと連携し、地域の女性が短時間でも就労でき、地域の仕事を地域で回すことが可能となる仕組づくりに取り組む。
- 地元企業とリモートワーカーがつながる仕組「長浜ワークロケーション事業」に取り組む、地元企業のやりたいことや課題と、自身のスキルや経験を活かして関わるワーカーのマッチングを図る。
- 女性・企業・リモートワーカーをつなぐ「しごとづくり」を推進するため、ふるさと寄附の運営を地域で行い、「安定した仕事づくり」と「魅力ある返礼品の開発」を実現する「地域共創型ふるさと寄附」に取り組む。（15頁のとおり）



地域内でのしごとの循環



6. スケジュール

令和3年度

- ・長浜ワークロケーション事業のモデル事業を実施。実施報告会の開催。
- ・地域共創型ふるさと寄附の実施体制の検討・調整。

令和4年度

- ・地域共創型ふるさと寄附の仕組みを活用した短時間勤務の試行。
- ・長浜ワークロケーション事業のロールモデルの拡大。ニーズのマッチング。

7. 今後に向けて

- ・中長期的な労働力不足に向けて、市域全体の取組に広げていく。
- ・女性の社会参画を進めるには、市民の意識変革（アンコンシャス・バイアスの解消）が必要となるため、令和4年度以降、「仕事」のみならず、地域活動への参画なども視野に入れながら、さらなる検討を進めていく。
- ・サテライトオフィスや都市部で働く関係人口と市内企業との交流を図り、相互のメリットを見出しつつ、事業の自立的な運営が可能となる体制を模索する。
- ・現時点で検討している「交流・居場所」「活躍・しごと」「都市部との人材循環」以外の要素も含めた「全世代・全員活躍型『生涯活躍のまち』」の推進に向け、令和4年度以降、検討を進めていく。